



津波から命を守るために

東日本大震災やインドネシア・スマトラ島沖地震などの巨大地震では、地震の発生直後に押し寄せた大津波が、建物などを破壊し、多くの尊い命を奪いました。

日本は海に囲まれており、これまでに何度も津波の被害にあっています。そのため、海沿いに住んでいる人はもちろん、海岸に出かける人も津波について理解し、備えておくことが大切です。

津波の特徴を理解し、津波の恐れがある場合には、あわてず速やかに行動できるよう備えましょう。



津波の来襲 (写真提供：宮古市)

北海道の津波被害

平成5（1995）年7月に発生した北海道南西沖地震では、地震発生直後に奥尻島をはじめ北海道や東北地方の日本海沿岸などに津波が押し寄せました。地域によっては津波の高さが30メートル以上となることもあり、震源に近い奥尻島を中心に地震や津波、火災などにより死者202人、行方不明者28人の被害が生じました。



被災直後の奥尻町 (写真提供：奥尻町)



北海道には他にどんな津波の被害があったのかな？

「憶えてください」

奥尻島地震と津波の記憶

麻生直子編(梧桐書院)より

私たちの島をのみこんだ
あの日のことを

あの夜のことを

しかし 忘れてはならない
人々の命をうばった

静かに

何もなかったように
いま青々と水をたたえる海

つれさつていった
家を 船を 人を

地に満ちた波が

たおれ くだけ

静かに
日の光をはねかえしている

海は青々と

佐藤 秀也 (中1)

豆知識 津波の言い伝え

古くから津波に襲われてきた三陸地方には、「津波てんでんこ」という言い伝えがあります。この言い伝えには、「津波が来たら、各自てんでんばらばらに高台へ逃げて自分の命を守る」という意味があります。また、津波の被害を受けた場所を伝えるため「此処より下に家を建てるな」という祖先の教えが刻まれた石碑も数多く残されています。こうした祖先からの言い伝えが今も語り継がれています。



大津波記念碑 (宮古市)
(写真提供：津波デジタルライブラリ委員会)

津波の特徴を知ろう！

1 津波は猛スピードで、しかも繰り返し襲ってくる！



津波は、水深が深いところでは、ジェット機が空を飛ぶスピードと同じぐらいの速さで伝わります。海岸に近づくと速度は遅くなりますが、後から来る波が重なり、津波の高さは高くなります。

また、津波は何度も繰り返し襲ってきます。第1波よりも、その後によってくる波の方が高くなる場合があります。

(資料提供：気象庁)

2 津波は大きなエネルギーをもっている！



(資料提供：気象庁)



津波は、海の表面だけではなく、何千メートルもの深い海底までの海水すべてが動いて伝わるので、すさまじい破壊力をもっています。津波が川をさかのぼり、堤防を越えて浸水するなどの被害が発生することもあります。

津波ハザードマップ

調べてみよう

地図で自宅や学校の海拔高度を調べたり、津波ハザードマップ※で危険な場所などをチェックしたりしてみましょう。

※ハザードマップ

市町村などの自治体が、洪水や津波などの災害が発生した時に、住民が安全に避難できるように、被害の予想区域や程度、避難場所などを示した地図のこと。



「500年間隔地震津波ハザードマップ」
(提供：釧路市)

話し合ってみよう

津波が来たとき、あなたはどのルートで、どこに避難しますか。自宅にいるとき、買い物に出かけているときなど、様々なケースを考えてみましょう。

- ・自宅にいるとき
- ・() で買い物をしているとき
- ・() 駅にいるとき など

津波がくる前に、まず避難！

海岸の近くにおいて

- 「強い大きな」揺れを感じたら
- 「ゆっくりと長く続く」揺れを感じたら
- 「急な引き波」があったら (引き波から始まるとは限りません)

**津波警報・注意報が出ていなくても
すぐに高いところへ避難しましょう！**

遠く離れた外国で発生した地震でも、日本に津波が来る場合があります。テレビやラジオの津波警報・注意報に気をつけよう！



津波警報・注意報

大津波警報	高いところで3m超を予想
津波警報	高いところで1m超、3m以下を予想
津波注意報	高いところで0.2m以上、1m以下を予想

発行：平成23年10月
 発行者：北海道教育委員会
 問い合わせ：北海道教育庁学校教育局参事（生徒指導・学校安全）
 電話 011-231-4111（内線35-670）
 URL <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/>

シリーズ「学ん DE 防災」(中学生用)

〈地震編〉



〈風水害編〉



左のURL（ウェブ）に掲載しています。

〈協力機関〉

- ・北海道教育大学札幌校
- ・札幌管区气象台
- ・北海道高等学校PTA連合会
- ・道都大学（イラスト提供 石田晴香 伊藤早穂）
- ・北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター
- ・北海道PTA連合会
- ・北海道総務部危機対策局危機対策課